

令和3年度事業報告

社会福祉法人琴平町社会福祉協議会

目 次

事業総括	P1
I、法人運営	P2～P5
1, 会員の状況	P2
2, 理事会の開催、監事による監査	P2
3, 評議員会の開催	P3
4, 組織及び事務局運営	P3～P4
5, 事業打合せ研修	P4
6, 実践報告	P5
7, 視察来所	P5
8, 広報・啓発活動	P5
II、地域共生社会における地域福祉の推進	P5～P25
1, 地域福祉推進に向けた包括的推進体制の構築	P5～P20
2, 福祉教育ボランティア学習	P20～P21
3, 各行事の開催	P21～P22
4, 関係機関・団体との連携と協力	P22～P23
5, 相談支援・権利擁護	P23～P25
III、介護・生活支援サービス	P25～P30
1, 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業	P25～P27
2, 介護・障害福祉サービス	P28～P30
IV、共同募金運動	P31～P33
V、収益事業	P33
1, 特産品活用事業	P33
VI、公益事業	P33～P34
1, 地域生活総合支援サービス	P33～P34
2, まちのキッチン「もぐもぐ」の運営	P34

事業総括

近年、本町を取り巻く社会情勢は、新型コロナウイルスの影響により、大きく変容している。新型コロナウイルスの影響が2年目の年となり、新しい生活様式に沿った事業展開となった。令和3年度も新型コロナウイルスの影響により、減収した世帯や失職した世帯を対象に生活福祉資金の特例貸付を貸付した世帯が、2年前の開始から約150世帯となった。これは、香川県内でも人口比率からすれば突出している。観光産業が主となっている本町ならではの特徴だと言える。継続的な支援が必要な方に対し、伴走型の支援と共に、町内外の社会福祉法人施設や町民にフードドライブの声掛けを行い、食糧の寄付も年間を通して多くいただいた。

その他、働き先がなかなか見つからない、働きたくても一歩が踏み出せない方も増えてきた。そのような方たちや障害がある方が一歩を踏み出せる場として、中間就労的な場所を作るために、企業と協働して、ガリック娘を作る工程から出る副産物を活用した新たな商品開発の協議を進めてきた。地域福祉活動を進めていく中で、地区ネットが琴平町の地域福祉推進を行っていく上で、中核的な役割を果たしている。感染対策を行いながらそれぞれの地区で、歩みを止めないように、役員を中心に協議を続けてきた結果、住民同士で支え合う意識の醸成ができ、それぞれの地区で、その地区で課題となったことに対し、取り組み始められたことは大きな成果となった。また、低濃度オゾン発生装置「バクテクター」を導入し、貸し出しを始めたことによって、今まで地域での会ができなかったところが、徐々にでき始めた。また、利用者支援事業の継続に向け、職員による感染症対策委員会を設置し、BCP（事業継続計画）を作成し、利用者にとって切れ目のない支援ができるように整備した。

以上のように、令和3年度は、地域住民や関係機関、また企業との連携・協働を意識し、地域との関りを断つことなく、さらに発展できたことは大きな成果だと言える。しかし、ふれあいデーやチャリティー作品即売展などのイベントごとが開催できなかった。また、ひだまりクラブも開催しているところは徐々に出てきたが、開催できていないところもある。各地区で計画していた行事も断念したところもあるが、形を変えて開催したところもある。ガリック娘も減収となり、広報活動を充実していかなければならない。コロナに対する不安はあることから、住民が安心して安全に活動できるように、より一層住民との対話を重ね、次年度に繋げたい。

令和3年度重点目標

①地域共生社会の実現に向けた地区ネット活動の拡充

それぞれの地区で、予定していた計画がコロナの影響によりできなくなったが、それで終わらすのではなく、柔軟に考え、新たな取り組みにシフトできた。

②地域生活課題の発見・共有・解決に向け業務担当から地区担当への移行

地区ネットや民生委員児童委員との懇談から出てきた情報をもとに、地区担当で訪問・連絡・相談等を行った。地区担当ですべての相談支援を担うことはできなかったが、地区担当と相談支援事業の連携は密にできた。業務担当から地区担当への移行は次年度の計画の中に入れ、引き続き取り組む。

③地域福祉推進の中核組織としての社協強化発展計画2年目の遂行 … (P4,4⑥参照)

経営基盤の強化を掲げていて、担当課の住民福祉課と協議をしてきたが、成果は出ていない。居宅介護、訪問介護等の実績も伸びていない。今後も継続していく。災害に備えた体制づくりでは、感染症対策委員会を設置し、BCP(事業継続計画)を作成した。災害関係での行政との協議等はできなかった。

I、法人運営

1、会員の状況

種別		金額(円)	前年度比(円)
一般会員	世帯	1,090,500	10,500
賛助会員	個人	383,000	9,500
特別会員	事業所等	740,000	160,000
総数		2,213,500	180,000

2、理事会の開催、監事による監査の実施

令和3年5月27日	監査	地域福祉ステーション
令和2年度事業及び会計監査		
令和3年6月4日	第1回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和2年度琴平町社会福祉協議会事業報告書(案)について		
議案第2号 令和2年度琴平町社会福祉協議会収支決算書(案)について		
議案第3号 監査報告について		
議案第4号 理事・監事候補者の推薦の提案について		
議案第5号 評議員の候補者の推薦の提案について		
議案第6号 令和3年度 第154回評議員会の招集について		
令和3年6月24日	第2回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 会長、副会長の選定について		
議案第2号 評議員選任・解任委員の選任について		
令和3年11月22日	第3回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会会計(第1回)補正予算(案)について		
議案第2号 評議員の補充選任候補者の提案について		
議案第3号 令和3年度 第155回評議員会の招集について		
令和4年3月11日	第4回理事会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会会計(第2回)補正予算(案)について		
議案第2号 令和4年度琴平町社会福祉協議会事業計画(案)について		
議案第3号 令和4年度琴平町社会福祉協議会収支予算(案)について		
議案第4号 経理規程の改正について		
議案第5号 令和3年度 第156回評議員会の招集について		

○役員協議会の開催

開催日：7月20日

内 容：今後の社協の事業活動・運営（経営）について

3. 評議員会の開催

令和3年6月22日	第154回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和2年度琴平町社会福祉協議会事業報告書（案）について		
議案第2号 令和2年度琴平町社会福祉協議会収支決算書（案）について		
議案第3号 監査報告について		
議案第4号 理事・監事の選任について		
令和3年12月2日	第155回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会会計（第1回）補正予算（案）について		
令和4年3月25日	第156回評議員会	地域福祉ステーション
議案第1号 令和3年度琴平町社会福祉協議会会計（第2回）補正予算（案）について		
議案第2号 令和4年度琴平町社会福祉協議会事業計画（案）について		
議案第3号 令和4年度琴平町社会福祉協議会収支予算（案）について		

4. 組織及び事務局運営

①職員会の定例開催及び朝礼の実施

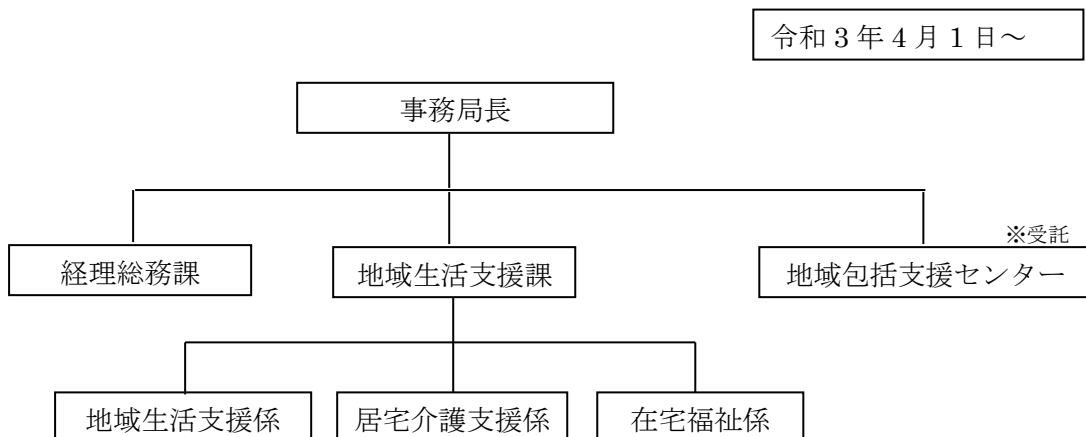
※朝礼は毎日8時30分から実施。一日の業務日程を各職員から報告。

②職員体制

職員	人数	取得資格の状況
正規職員 (出向含む)	18名	・社会福祉士 8名 ・介護福祉士 11名
非正規職員	10名	・介護支援専門員 9名 (内主任ケアマネ3名)
登録ヘルパー	11名	・精神保健福祉士 2名 ・社会福祉主事 5名 ・歯科衛生士 1名 ・看護師 2名
		・調理師 2名 ・ホームヘルパー 6名 ・准看護師 3名 ・認知症ケア専門士 1名 ・栄養士 1名 ・保育士 1名 ・保健師 2名 ・手話奉仕員 2名

(令和4年3月31日現在)

③事務局体制



④職員研修（全職員対象）

開催日	内 容
3月	役員・評議員会・職員勉強会 講師：琴平町副町長 谷口信平氏
	接遇研修 講師：琴平町地域おこし協力隊

⑤福祉ことひら 年3回発行 職員で輪番制

⑥社協強化発展計画の遂行

- ア、会長・事務局長・次長による定期協議
 - ・組織運営について及び事業について
- イ、管理職会議の毎月の開催
 - ・進捗状況の報告等
- ウ、住民福祉課との協議の実施
 - 重層的支援体制整備事業について協議 2回
 - 重層的支援体制整備事業行政・社協職員研修会 2/28
 - 受託事業について協議 2回
- エ、毎週火曜日 敷地内清掃の実施 17時～17時15分

5. 事業打合せ及び研修

<法人の為の研修>

日 付	内 容	開催場所
4/23	県内市町社協職員基礎研修	県社協
11/5,6	地域福祉（CSW）実践者研修	高松市
12/15	アライアンスセミナー	県社協

<県内社協事務局長関連>

日 付	内 容	開催場所
11/17	県内社協常務理事・事務局長セミナー	高松市
2/21	県内社協常務理事・事務局長会議	県社協

<地域福祉推進委員会関連>

日 付	内 容	開催場所
8/10、12/21	県内市町社協地域福祉推進委員会企画委員会	県社協
11/12、12/10	県内市町社協地域福祉推進委員会企画委員会活動グループ	県社協
4/7、7/14、10/13、 1/12	香川後見ネットワーク運営委員会	県社協
5/20、6/3、7/1、1/18、 3/31	香川おもいやりネットワーク事業運営委員会	県社協
4/30、7/19、10/21、 1/27	香川県地域福祉推進委員会	WEB

<災害関連>

日付	内容	開催場所
6/9、2/24	日赤担当者会議	県社協
9/18	災害ボランティア研修	高松市
11/29,30	災害ボランティア運営者研修	県社協
12/3	日赤奉仕団ボランティアリーダー研修会	県社協

6. 実践報告

期日	派遣先	研修名
11/16	Web	北陸地区地域福祉実践セミナー
11/26	高松市	生活支援コーディネーターによる地域の居場所づくり研修
1/21	県社協	県内社会福祉協議会実践研究大会

7. 視察来所

期日	団体名	内容
11/25	全国食支援協議会	居場所づくりについて
12/9	愛南町社会福祉協議会	社協事業及び重層的支援体制整備事業について

8. 広報・啓発活動

①回覧

- ・事務局通信シャントセナの発行
毎月発行して、事務局から報告、予定、動向をまとめ発行している。
- ・福祉ことひらの発行
年3回の発行。住民参加の広報紙としての位置づけをし、感想や意見等を掲載。

②ホームページの運用

③SNSによる発信

こんぴら朝市、共同募金のSNSを作成し、情報を発信している。

II、地域共生社会における地域福祉の推進

今年度も新型コロナウイルスの影響により、予定していた活動ができなくなってしまうことがどこの地区にも出た。しかし、できないなのではなく、工夫をして新たに計画し、実践していくという地域の強さが見れたことは、住民が自分たちの地域を変えたいという強い思いの表れだと思う。また、地道な活動から、住民の気づきから個別支援に至ったケースもあり、着実に住民と職員の顔の見える、知る関係は構築されてきている。

1. 地域福祉推進による包括的な支援体制の構築

(1) 地域福祉推進体制

①福祉委員活動

i フードバンクへの協力

フードバンクとなる食料品を声掛け等によって集めた。

ii 見守り・声掛け活動

新型コロナウイルスの影響によって、引きこもりがちになっている高齢者を中心に気

に留めて、何かあれば社協に連絡をしてもらうよう周知を行った。

②地域福祉懇談会

1月から3月にかけて行う予定だったが、蔓延防止措置が発令され、今年度は中止となった。来年度から7月から8月にかけて行う予定。

③民生委員児童委員との個別協議の実施

民生委員児童委員協議会会長から、民協と社協は両輪でなければならないという趣旨から一人ひとりの民生委員と地区担当職員との懇談を行った。

i 民生委員児童委員数：31名

ii 参加者：地区担当職員

iii 内容：独居高齢者や気になる世帯に対しての情報共有

iv 成果：民生委員児童委員が持っている情報をもとに、地区担当職員による訪問を行うことができ、継続的な支援につながった。また、社協からの情報をもとに、民生委員児童委員が見守りをしてくれるようになり、お互い情報交換をしている。

④各地区ネット活動の活性化

i 各地区ネット活動（各地区地域福祉推進連絡会）

<琴平地区>

名称 コンぴらアイネット

場所 琴平町地域福祉ステーション研修室

開催日	協議内容	参加者数
4月16日	1, 地域福祉懇談会報告 2, 今年度の活動計画	9名
5月21日	1, 今後の活動について	8名
7月16日	1, 今後の活動について協議	8名
8月20日	1, アイネットのPRについて 2, 地域づくりについて	9名
9月17日	1, 今後の取り組みについて 2, その他	9名
10月15日	1, 琴平を元気にするため ・「コンぴらにんにくフェスタ」について ・炊き出し訓練などを兼ねた「防災部門」 2, その他	8名
11月26日	1, コンぴらにんにくフェスタについて ・今後の日程及び内容についての確認 ・コンぴらにんにくフェスタ実行委員会の構成員について 2, その他	11名

12月17日	1, こんぴらにんにくフェスタについて ・開催内容の協議 ・実行委員会形式等の検討 2, その他	11名
--------	---	-----

ア、こんぴらにんにくフェスタ実行委員会

こんぴらアイネットで協議し、結成された実行委員会。コロナ禍において、元気がなくなっている地域を元気づけたい思いから、にんにくフェスタを企画。にんにくの関係者等に呼びかけ、琴平の特産品であるにんにくを使用した「ガーリック娘」と「ガーリック侍シリーズ」を使用した料理コンテストを開催し、次年度4月10日にフェスタを開催する。今後は、継続的にできるよう協議を行っていく。

イ、にんにくフェスタ実行委員会の開催

開催日	内容	参加者数
2月25日	①書類審査結果について 一般部門11件、学生部門2件、お店部門5件 ②今後の流れ ③実食審査日程調整 コロナ禍の中での審査方法について検討	8名
3月20日	①報告事項 ・南部消防のブース ・宝食品出店 ②当日の流れ・配置の確認	11名

ウ、料理コンテストの開催

テーマ にんにく料理で元気になろう ～我が家の自慢の一品～

募集部門 一般部門 お店部門 学生部門

応募要件 ガーリック娘もしくはガーリック侍シリーズを使用していること。材料費1人前1,000円以内。

応募数 18作品

実食審査 令和4年3月20日

一般部門 5作品 学生部門 書類審査のみ

お店部門 4作品

<榎井地区>

名称：榎井ハッピーネット

場所：琴平町地域福祉ステーション

開催日	協議内容	参加者数
4月13日	1, 榎の木フェスタについて 2, その他	14名
5月11日	1, 榎の木フェスタについて 秋以降に延期 2, 地域福祉懇談会の報告	12名

	3, 令和3年度の計画について	
8月6日 役員会	1, 榎の木フェスタについて 今年度の開催可否について	3名
9月30日 役員会	1, 榎井ハッピーネットについて 地区ネットの仕組み 原点に立ち戻る	3名
10月12日	1, 地区ネットについての説明 2, グループワーク※	12名
11月29日 役員会	1, 令和4年度榎の木フェスタについて 2, 榎の木フェスタの内容について	3名
1月18日	1, 榎の木フェスタについて 日程、全体像、各ブースの担当 2, その他	12名

考察：榎の木フェスタ開催に向けて、年度当初協議していたが、コロナの影響により開催を断念した。そこから役員会で、原点に戻って「地域の困りごと」を丁寧に拾い上げ、榎井地区としてできることを考え、榎井ハッピーネットのメンバーでカードワークを行い、自分たちに何ができるかを考えるきっかけづくりを行い、新たな活動の展開に向けた動きとなった。

<五條地区>

名 称：五條互助ネット

場 所：仲多度南部消防本部消防組合

開催日	協議内容	参加者数
4月26日 役員会	今年度の計画について	4名
6月3日	1, 地区ネットについて 説明 2, 企画防災課より、避難指示等の情報について 3, 今後の五條互助ネットの活動について	20名
8月30日 役員会	「互助ネット〇〇運動」について協議	4名
10月7日	1, 互助ネット〇〇運動について 2, 防災訓練について 赤十字防災セミナー 3, 維持避難場所について	23名
12月14日	赤十字防災セミナーの開催 講師：日本赤十字社香川県支部 内容 ①災害ボランティアセンター運営訓練 ②災害エスノグラフィー（過去の災害の追体験） ③災害に役立つ応急手当	20名

3月14日 役員会	互助ネットハンカチ運動について	4名
--------------	-----------------	----

考察：年に一回防災訓練をしていこうと協議してきたが、コロナの影響によりできなくなった。象郷地区の黄色いハンカチ運動をヒントに、五條地区では、自分からなかなか声を出せない人が、何か話を聞いてほしい、何か手伝ってほしいことがあれば、タオルを玄関先に掲げておくことによって、近所の人気づき、声かけや自治会長や福祉委員に連絡し、関係機関に繋げる仕組みを作る目的で、オレンジ色のタオルを自治会加入世帯に配布する計画を行った。配布段階で、コロナの影響により、会が開催できなくなってしまい、次年度に繰り越しとなった。また、日赤香川県支部の指導の下、防災セミナーを開催した。

<象郷地区>

名称：楽集館あったかネット

場所：楽集館

開催日	参加者数	備考
7月9日 役員会	・イベントやコロナ禍での課題等 ふれあい交流会 黄色いハンカチにちなんだ防災講演会 等 ・課題 自治会、非農家との関係性	3名
7月28日	①地域福祉懇談会での内容 ②今年度の活動計画について ・防災活動 ・地域ふれあい交流会 ・コロナ禍での課題 ③その他	8名
9月21日	①役員改選・・・次回持越し ②防災活動、地域ふれあい交流会について	10名
12月8日	①役員改選について ②防災活動について ・黄色いハンカチ運動配布について ・防災講演会の実施について ・地域ふれあい交流会について ③その他	9名

考察：年に一回「楽集館ふれあい交流会」を開催していたが、コロナの影響により中止に。昨年度から黄色いハンカチ運動を広げるために、今年度は、苗田地区と下櫛梨地区に配布予定だったが、コロナの影響により配布できなかった。象郷地区として活動ができないまま終わった一年となった。次年度に向けて、年間計画をつくり、楽集館を拠点に地域の交流を深められる計画を策定していく。

⑤「ささえ愛こんぴら」の推進

生活支援コーディネータを中心に琴平町全域における、地域ニーズからの対策・支援

を考え、サービスの企画実施を行う。

i ささえ愛こんぴらの開催

回	開催日	内 容	参加者数
役員会	8月5日	①協議事項 ・開催日について ・協議内容について ②ささえ愛隊について	3名
第22回	9月28日	①ささえ愛こんぴら説明 ②買い物号報告 ③協議 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」について	12名
役員会	10月18日	①次回ささえ愛こんぴらで協議する事 ②ささえ愛隊について	3名
第23回	12月16日	①こんぴら朝市報告 ②各地区ネット近況報告 ③住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」報告	11名

ii こんぴら朝市実行委員会への参画・協力

一年を通して、緊急事態宣言や蔓延防止措置が適用されても、住民の買い物する場所がなくなっては生活ができないという声から、感染症対策を考えながら年間を通して開催することができた。

実行委員会：琴平町、琴平町観光協会、琴平町商工会、ささえ愛こんぴら、こんぴらアイネット

目 的：町内の様々な関係機関と連携し、買い物支援として朝市を開催することを目的とする。

事務局：琴平町社会福祉協議会

場 所：琴平町地域福祉ステーション研修室

月日	内 容
4月16日	1, 報告と振り返り 2, 協議事項 ・今後の計画について ・ユニフォームについて 3, その他
5月21日	1, 報告事項 ・4/23と5/9の朝市の状況 2, 協議事項 ・コロナ禍での開催について

7月16日	1, 報告事項 ・5/23、6/13、6/27、7/11の振り返り ・新規出店者について 2, 協議事項 ・町内を元気づけるためにできること
8月20日	1, 報告事項 ・7/25、8/8の振り返り 2, 協議事項 ・情報発信について（SNSの活用） ・町内を元気づけるためにできること
9月17日	1, 報告事項 ・8/22、9/12の振り返り 2, 協議事項 ・情報発信に向けての活動 ・駐車場について ・町内を元気づけるためにできること
10月15日	1, 報告事項 ・9/26、10/10の振り返り 2, 協議事項 ・「こんぴらにんにくフェスタ」について ・商品開発について
12月17日	1, 報告事項 ・11/28、12/12の振り返り 2, 協議事項 ・12月26日開催について ・こんぴらにんにくフェスタについて

<こんぴら朝市> 場所 一之橋公園

開催日	店舗数	開催日	店舗数
6月14日	4店舗	11月22日	7店舗
6月28日	7店舗	12月13日	5店舗
7月12日	5店舗	12月27日	3店舗
7月26日	5店舗	1月22日	4店舗
8月9日	5店舗	2月12日	4店舗
9月13日	6店舗	2月26日	4店舗
9月27日	7店舗	3月12日	5店舗
10月11日	7店舗	3月26日	6店舗
11月8日	8店舗		

※4月、5月は新型コロナウイルスの影響により中止

iii 買い物号の運行

買い物に必要な方を対象に運行

毎週月・木 10時～12時（おおむね）

<実施状況>

月	延利用者数
4月	27名
5月	24名
6月	27名
7月	28名
8月	28名
9月	30名
10月	38名
11月	42名
12月	35名
R3.1月	28名
2月	33名
3月	34名

iv 買い物支援（マルナカとの連携）

高齢者がマルナカに買い物に来て、荷物を帰りに持ち帰れない方に対して、配送を手伝う。

月	利用件数
4月	9件
5月	6件
6月	4件
7月	7件
8月	3件
9月	7件
10月	7件
11月	6件
12月	10件
1月	3件
2月	6件
3月	8件

v 住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」・・・

住民が住民を支え合うことを目的に、「ささえ愛隊」を結成。長い間、ささえ愛コンビ

らで協議してきたことことが実現できた。

○活動開始 12月10日

○会員数及び隊員数

会員 8名

隊員 8名

○ささえ愛隊連絡会の開催

養成講座修了者から隊員に登録していただいた方たちに、これから「ささえ愛隊」として活動していくための意見交換会を行った。

開催日	内 容	参加者数
令和4年1月18日	①利用会員の人数について ②登録隊員数について ③活動状況について ④ささえ愛活動についての意見交換	8名

○活動実績

月	内 容	件 数
12月	水道管の保護、墓参り移動支援と介助	2件
1月	資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ出し支援	6件
2月	資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ出し支援	8件
3月	資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ出し支援、墓参り移動支援と介助	7件

(2) ふれあいいいききサロンの推進

約半数が、コロナの影響により開催できていない。世話人と訪問や電話連絡をしながら現状を聞くと、コロナに感染してしまったらと思うと、なかなか開催できないと言っていた。アンケートも行ないながら、現状を逐一報告していただいた。その中でも、細々としていたり、世話人がサロン参加者のところに一軒一軒訪問をしているところもあった。

ア、アンケート調査の実施

イ、箇所数 28箇所

ウ、チャリティー収益金よりひだまりクラブ助成金を各クラブに助成した。

助成総額 98,000円

(3) 拠点運営

①ちよつとこ場

○ちよつとこ場ボランティア数 446名

○ちよつとこ場利用者数 令和3年度 1,314名 (R2年度 1,795名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア数			43	52	41	57	54	43	46	39	32	39	446
地元			87	86	73	98	102	83	99	72	50	97	847
観光客			19	48	21	59	33	74	33	70	29	81	467
													1314

○写経クラブ活動：・NikoNiko 第1、3月曜日 参加者数3名

・稲穂会 火曜日 参加者数4名

・豊作会 水曜日 参加者数3名

(運営にも携わってくれた)

○ひだまりクラブ 3サロン活用 サンサンサロン(新町) 毎月第3水曜日

なでしこ会(富士見町) 毎月第2月曜日

○スマホ講座 第1第3火曜日

○琴平まちじゅう図書館 月曜日

②地域福祉拠点「楽集館」

象郷地区の地域福祉拠点として、現在は近隣自治会の集会の場、スポーツ少年団の集まり、ボランティアグループの活動の場、様々な会合の場などに使用されている。

<利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	4	5	3	9	5	4	6	6	4	5	4	5	60
人数	26	30	16	65	34	38	43	40	48	28	24	42	434

③小弘邸

社会福祉士実習の中の地域滞在型実習で、8月から10月初旬までの間、宿泊場所として使用。

④梅ちゃん家

琴平中学校前の拠点。成年後見の身上監護で関わっていた方が亡くなったことにより、遺贈。令和4年度から地域の活動拠点として活用していく。

(4) 地域包括支援センターの業務

新型コロナウイルスの影響によって、会合が開催できないということが多々あったが、オンラインを活用し、昨年できなかったことができるようになった。虐待対応や、認知症による徘徊で、関係機関と連携し捜索することができた。住民主体の活動場所である総合センターが人数制限がかかり、しばらく開催できなかったが、楽集館を活用し継続することができた。

○人員体制 6名

資格	人数
社会福祉士	2名
主任介護支援専門員	1名
保健師	1名
介護支援専門員	1名
社会福祉主事	1名

<業務状況報告>

	総合相談 (権利擁護、包括的ケアマネジメントに係るものを除く)		権利擁護に関する相談							
	相談件数	実人数	認知症	虐待		成年後見		その他		
			内実人数	相談件数	実人数	相談件数	実人数	相談件数	実人数	
4月	21	19	4							
5月	19	17	6	2	1					
6月	32	19	3			1	1			
7月	38	25	3			2	1			
8月	37	26	2	1	1	1	1	2	1	
9月	29	17	1						1	1
10月	27	19	2	1	1					
11月	34	27	4	1	1			2	2	
12月	27	20	5			2	2	1	1	
1月	30	22	4						3	3
2月	28	18	4						1	1
3月	35	27	2						1	1
合計	357	256	40	5	4	6	5	11	10	

	介護予防ケアマネジメント		包括的・継続的ケアマネジメント支援業務				包括的支援事業			
	予防給付 実人数	総合事業 実人数	関係機関からの相談		関係機関との連絡会等の開催		地域ケア会議の開催		認知症初期集中支援チーム	
			相談件数	実人数	主催	参加	主催	参加	訪問	会議
4月	94	29				1				
5月	98	30	2	2		3	2			
6月	98	29	2	2		1			2	
7月	98	27	2	2	1					2
8月	98	26	3	3	1	1	1			
9月	100	24	3	2	1				2	2
10月	97	25				1			2	2
11月	92	24	1	1	1	2			1	1
12月	99	22	1	1		2	1		1	2
1月	98	22				2			3	3
2月	98	21				1			1	
3月	101	20	2	2						1
合計	1171	299	16	15	4	14	4	0	12	13

③一般介護予防事業

i 介護予防普及啓発事業

ア、健康太極拳

足腰の筋力・バランス力を高めることを目的とし、太極拳講師により実施

開催日	4/13	5/11	6/8	7/13	8/10	10/12	11/9	12/14	1/11
参加者数	8	5	4	4	4	6	5	6	5

イ、脳力向上 頭のげんき塾

ストレッチ、指体操、ゲーム、介護予防に関する講義等、包括職員により実施

開催日	開催場所	参加者数
8/11	総合センター	16
9/8		17
10/13		17
11/10		17
12/15		14
1/12		17
3/9		12

ウ、こんぴらすこぶる元気塾

健康運動指導士、歯科衛生士と包括職員で運動機能・口腔機能向上につながる教室を実施

開催日	参加者数	開催日	参加者数
9/16	5	10/28	3
9/30	6	11/4	3
10/7	3	11/11	3
10/14	3	11/18	5
10/21	3	11/25	2

ii 介護予防講演会

開催日 令和3年10月26日（火）

テーマ 健口から始まる健幸生活

講師 青木まゆみ先生

内容 オーラルフレイルが全身の機能を低下に及ぼす影響は大きい。口腔体操などを行い、予防啓発する。

参加者 6名

※第2回目に令和4年2月17日に「体験！認知症予防のコグニサイズ」を予定していたが、蔓延防止重点措置期間中のため中止となった。

④地域介護予防活動支援事業

i 介護予防自主活動

- ア、からだらくらく体操同好会
開催回数 36回 延参加者数 725名
- イ、こんぴらまちかど体操同好会
開催回数 17回 延参加者数 304名
- ウ、ほんわかヤング
開催回数 10回 延参加者数 116名

ii 介護予防サポーター養成講座

高齢者自らが積極的に健康づくりや介護予防の取り組みを推進するため、地域への普及啓発、地域での見守りや声掛けといった支え合いを行う介護予防サポーターを養成した。今年度は、ささえ愛隊の隊員になってもらうようプログラムを組んだ。

開催期間 9月7日～9月21日 週1回の3回開催
参加者数 9名
修了者数 9名

※修了者の中から「頭のげんき塾」でのケアの必要な方への支援、おれんじカフェへの参加など地域支援につながった。

⑤認知症総合支援事業

i 認知症キャラバンメイト連絡会

琴平町認知症キャラバンメイトと共に認知症サポーター養成講座の内容や啓発活動について検討を行った。

開催日：令和3年11月24日（水）
参加者：8名

ii 認知症サポーター、キッズサポーター養成講座

開催日	受講者	開催場所	参加者数
9/14	介護予防サポーター養成講座	総合センター	9名
12/6	榎井小学校6年生	榎井小学校	9名
12/8	象郷小学校6年生	象郷小学校	22名
12/15	琴平小学校6年生	琴平小学校	18名

iii 認知症カフェ事業

琴平町在住の認知症の方とその家族を対象に直営カフェをゆうあいの家にて開催。ボランティア（当事者家族、介護予防サポーター）、包括職員で実施。

実施場所：ゆうあいの家

実施日	4/20	5/18	6/15	7/20	8/17	9/21	10/19	11/16	12/21	1/18	3/15
参加者数	6	4	4	4	2	4	7	7	8	9	6

iv 認知症初期集中支援チーム

支援チーム相談・対応件数	2件
チーム員会議開催回数	2回
サポート医訪問回数	0回
チーム員訪問回数 紹介訪問	2回
継続訪問	27回
支援終結件数	2件

※上記以外で支援終結後も、家族、担当ケアマネからの相談に応じ、対応を実施

⑥在宅医療介護連携推進事業

開催期間 令和4年3月24日(木)

内 容 「認知症になっても住み慣れた地域で最期まで暮らせる社会の実現に向けて
～地域に根差した ACP の実践～」

講 師 医療法人 然みのりクリニック 蔵谷弘子 院長

⑦地域ケア会議

実施日	種別	参加人数	内容
12/13	自立支援型	10人	認知症老老介護世帯
R4.2/14	自立支援型	6人	本人と第三者とで目標設定に隔たりがある
R4.3/3	個別	5人	退院後の在宅生活に向けた課題整理

⑧研修会への参加

開催日	内 容
7/26	第1回香川県虐待対応実務者会議
8/26	難病患者支援従事者研修会
9/18	介護支援専門員連絡会
9/28,29	成年後見制度利用促進体制整備基礎研修
10/4,5	令和3年度高齢者虐待対応現任者研修
10/5,6	認知症地域支援推進員研修
10/13	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会
10/13	介護予防サービス・支援計画書に係る研修
10/19	第1回まんのう・琴平主任介護支援専門員連絡会
10/30	介護支援専門員資質向上研修会
10/30	自立支援等を見据えたアセスメント強化研修会
11/5,10	令和3年度地域包括支援センター棟新任職員研修
11/8	権利擁護セミナー
11/12	中讃主任ケアマネ連絡協議会
11/19	在宅医療・介護連携推進事業多職種研修会
1/17	後見人の意思決定支援研修

1/27	令和3年度かがわ高齢者見守りネットワーク研修会
3/8	K-ネット全国セミナー（後見）
3/14	全国地域包括・在宅介護支援センター研修会

(5) 香川おもいやりネットワーク事業参画法人としての取り組み

①法人間連携協議会への参加

i 参加法人

- ・正友会 ・鶴足津福祉会 かりん園 ・まんのう町社会福祉協議会
- ・琴平町社会福祉協議会

i-b フードバンクへの協力

正友会が年2回フードドライブを行い、食品をフードバンクに寄付してくれた。

ii 支援・・・(P23-5 (2) 参照)

(6) 住民の地域活動の推進

①プラットフォーム関係団体支援

一年間、各グループともコロナ禍でなかなか活動ができなかった。しかし、緊急事態宣言や蔓延防止措置等が解除されたら、少しでも集まって協議していた。415のわは、年に一回「絵本文庫どり〜む祭り」を絵本作家を呼び、開催していたが、今年度は、オンラインで開催するなど工夫していた。

まちじゅう図書館も、毎月一回勉強会を開催していたが、緊急事態宣言後は、なかなか感染者数が減らないことで、集まりができていない。しかし、地道な活動により、本の寄贈が少しずつあったり、まちじゅう図書館の店舗を増やしたり、会報を発行したりできた。

K³は、子どもたちの長期休暇中に「K³と遊ぼう」という企画を毎年やっていたが、今年度はできなかった。しかし、「こんぴっぴ焼き」の普及、親同士のつながりづくりや子どもとのつながりづくりを目的に、冬休みに希望する子どもの家庭に配食した。

ウォークアミーガは第2, 第4月曜日に生きがづくりと健康のためのウォーキングを継続している。

グループ名	内 容
415のわ	<p>目的：琴平で暮らす子どもたちが絵本にふれあうことにより健全な心を育み創造性あふれる子どもに育ててほしいという思いで「絵本文庫どり〜む」の運営とお話会を中心に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本文庫どり〜む運営 ○定例会の開催（毎月1回） ○お話会の開催（毎月第3日曜日） 新型コロナウイルスの影響により、お話会は数回しか開催できなかった。ほとんどは本の貸出しのみの開館とした。 ○英語のお話会開催（毎月第1日曜日） 新型コロナウイルスの影響により、開催していない。 ○オンラインワークショップの開催

	<p>開催日：2月11日（金）開催 開催方法：ZOOM オンライン 講師：絵本作家 スギヤマ カナヨ氏（オンライン参加）</p>
まちじゅう図書館	<p>目的：図書館のない琴平のまちで、子どもたちが気軽に本にふれあえる環境を作り、豊かな心を育むことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会報の作成 町内全戸配布 11月 ○定例会の開催（毎月開催） ○役員会の開催（不定期） ○本箱設置の募集
K ³	<p>目的：子どもたちが安心して遊び、学ぶことができるような環境づくりを目的に活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定例会の開催 計 10回開催 ・子ども弁当の配布 <p>日時：1月7日（金） 50食配食 会場：総合センター 内容：こんびっぴ焼き</p>
ウォークアミーガ	<p>目的：町の魅力を発見しながら健康づくりの一環でウォーキングを中心に活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月第2、第4月曜日にちよつこ場から出発

2. 福祉教育・ボランティア学習

（1）住民による活動推進のための学習会、研修の開催

①第17回四国地域福祉実践セミナーin高知

※オンライン参加 10名

②地域福祉を考える住民大会 —第35回琴平町社会福祉大会—

※新型コロナウイルスの影響により中止

（2）福祉教育推進体制の整備

①福祉協力校活動への協力

学校名	活 動	内 容	
琴平小学校	・共同募金協力	福祉教育	
榎井小学校	・琴平町の福祉（6年生）	6/23	福祉教育
	・福祉体験（6年生）	7/15	体験学習の成果報告
	・共同募金協力		
象郷小学校	・琴平町の福祉（6年生）	6/9	福祉教育
	・共同募金協力		
琴平中学校	・福祉体験（1年生）	10/22	社会参加活動
	・お節配り体験 12/30 26名 21食 配食		福祉教育
	・共同募金協力（ベンチ製作）		
琴平高校	・3年5組への福祉についての授業	福祉教育	

○香川県立高松南高等学校…地域福祉についての授業 10/20

○香川県立丸亀城西高等学校…地域福祉についての授業 1/14

（3）実習及び養成研修受入

受入内容	人数	所 属	備 考
社会福祉士現場実習	10	川崎医療福祉大学、四国学院大学 高知県立大学、四国中央医療福祉 総合学院、新見公立大学	川崎医療福祉大 学は宿泊実習

※介護福祉士の現場実習は、新型コロナウイルスの影響により、中止となった。

3. 各行事の開催

（1）住民・ボランティア交流事業「ふれあいデー」

※新型コロナウイルスの影響により、中止

（2）第48回チャリティー作品即売展 主催：チャリティー作品即売展実行委員会

・監査の実施 5月17日

・実行委員会 9月22日、11月30日、3月18日

第48回目のチャリティー作品即売展は、新型コロナウイルスの影響により中止

チャリティーの収益で配分している事業で影響がないように、チャリティー募金や募金箱の設置、こんぴら朝市で今までチャリティーで出していた品物を販売するなどして、配分活動の継続を行った。

○決算報告

ア、収入の部

(単位：円)

1、総売上額	98,996
2、寄付金（チャリティー募金）	344,073
3、チャリティー協賛金	0
4、募金箱	3,880
5、受取利息	3
収入合計	446,952

イ、支出の部

(単位：円)

1、材料費	0
2、事業実施経費	29,394
支出合計	29,394

ウ、収益金

446,952 - 29,394 = 417,558 円

エ、配分活動 387,000 円

準要保護家庭、老人福祉、子どもたちへのクリスマスプレゼント、ひだまりクラブに配分

4. 関係機関・団体との連携と協力

①民生児童委員協議会との連携・協働

民生児童委員協議会で下記の通り説明及び依頼等を行った。

- 5月 社協事業について
- 9月 「共同募金」依頼
- 10月 共同募金運動の実施
- 11月 チャリティー募金依頼、共同募金送金報告

②これからの自治組織のありかた検討会の開催

開催日：第1回目 10月25日（月）13：30～15：00
第2回目 令和4年2月22日（火）13：30～15：20

参加者：自治会連合会会長・副会長、各地区ネット会長、ささえ愛こんぴら会長

③関係機関との連携・協力先

- ・香川県内市町社会福祉協議会連絡協議会
- ・ねむ工房事業支援と連絡調整
- ・コスモスの家運営委員会（CSクリエイション）
- ・障害者生活支援センターふらっと
- ・中讃西部地域自立支援協議会
- ・香川コミュニティ・ソーシャルワーク実践研究会
- ・地域運営推進協議会（グループホームこんぴら）
- ・香川後見ネットワーク運営協議会
- ・特定非営利活動法人かがわ後見ネット

- ・香川県共同募金会
- ・特定非営利活動法人香川フードバンク
- ・香川おもいやりネットワーク
- ・全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会
- ・全国包括・在介センター協議会
- ・全国食支援活動協力会

5. 相談支援・権利擁護

(1) 各種相談

①相談受付	法律相談 (月1回)	12日	41件
②相談員業務	一般相談 (高齢者)	71件	
③障害者相談	件数 延 505件 (内訳)	精神障害者	352件
		身体障害者	42件
		知的障害者	129件

(2) 相談対応実績

様々な相談を総合的に職員がその人に必要な支援方法を一緒に考え、主に下記の相談支援事業に繋げ、寄り添った支援の展開。

事業名	相談件数及び利用者数	支援実績
生活福祉資金貸付事業 (※特例貸付含)	相談件数 280件	緊急小口資金 4件 教育支援資金 0件 特例緊急小口 26件 特例総合支援資金 31件 特例総合支援(延長) 8件 特例総合支援(再) 22件
	主に特例貸付が多く、本則である生活福祉資金については、生活保護のつなぎ資金のみであった。	
生活困窮者自立支援事業	新規相談 39件 プラン件数 7件	新規プラン作成 3件 電話・相談 延449件 訪問・同行 延132件 面談 延374件
	特例貸付の総合支援資金の申請と同時に生活困窮者自立支援事業への登録となり、大幅に登録者数が増加した。支援が必要な方に、フードバンクの活用、農業やNPO法人ねむ工房と連携し、働く場を確保したりした。中には、ハローワークや通院の同行も行った。	
香川おもいやりネットワーク事業	相談件数 17名 (内新規4名)	現物給付 11件 入居債務保証 5件 (内新規1件) フードバンク 95件

	特例貸付の相談から現物給付となった方もいる。収入に対し、支出のバランスがわからずに現物給付を複数回利用する方もいた。生活困窮者自立支援事業の家計改善を入れながら、何度も話し合いを重ねた。			
日常生活自立支援事業	相談件数	284件	支援件数	446件
	生活保護から契約になった方が多かった。不動産屋から社協が関わってくれたら貸し出すということで、契約になった方が2名いる。一年通して、徐々に契約者が増えてきた。職員による訪問によって、見極めを行い、徐々に支援員につないでいく。			
日常的金銭管理等支援サービス	利用者数	16名	支援件数	1,214件
成年後見事業	被後見人	1名	支援件数	305件
	被保佐人	3名		
被補助人	2名			
身上監護	1名			
終了者	1名			
年間を通して増えてはいないが、日常生活自立支援事業から成年後見になった方がいる。また、後見支援員として、権利擁護に携わってくれる住民を養成したことによって、今後徐々に移行していくと共に、さらに養成をすすめていく。				

※特例貸付とは、新型コロナウイルスの影響によって収入が減った世帯や失職した世帯を対象に行う貸付

④相談支援関連研修会への参加

研修日	内容
5/17	生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業担当者定例会
5/28	成年後見市町村セミナー
6/10	生活困窮者自立支援協議会連絡会
6/24	緊急小口資金等の特例貸付等に関する市町社協担当者会
7/1	香川おもいやりネットワーク事業・地域福祉合同担当者会
7/12	第1回権利擁護担当者会
8/17	香川おもいやりネットワーク事業・地域ネットワーク会議
8/18	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業担当者連絡会
8/18	権利擁護サポーター養成講座
11/5	法人間連携定例会
11/8	権利擁護支援セミナー
11/25	生活福祉資金特例貸付に係る相談支援担当者会

R4.3/9	特例貸付における償還開始の延長等の案内通知に関する連絡会議
R4.3/29	特例貸付における償還開始の延長等の案内通知に関する連絡会議

Ⅲ、介護・生活支援サービス

1. 在宅福祉サービス及び生活支援サービス事業

(1) 地域生活支援事業（独自事業）

- ①えんがわクラブ 延 140名
- ②特別生活サービス 延44.5時間（制度外的生活支援サービス）
- ③生活支援 延 9回
- ④福祉機器等貸出し事業

「ねたきり予防」「在宅介護支援」等の視点で介護機器の貸し出しを行った。

種別	件数	種別	件数
老人車		エアマット	
車椅子	20	シャワーチェア	
歩行器		シャワースカール	
ポータブルトイレ			

⑥移送サービスの実施

- ・福祉車両の運行 利用回数 21回
- 利用目的 病院の通院、入退院、病院の外出、緊急対応、墓参

(2) 住民参加型サービス

①調理ボランティア（食生活改善推進協議会他）

毎週火・水・木曜日（12月29日～1月3日は休み） 154日

調理ボランティア数 延403名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	35	27	37	36	32	35	32	35	32	30	32	40	403
日数	13	12	14	13	13	13	12	13	12	12	12	15	154

②食事サービス

生活支援型の配食事業として、町から受託している配食サービス事業の基準に達しない人に対し、ケア会議で必要と判断される場合に配食を行う。また、夕食も柔軟に対応している。

月	会食	生きがい デイ参加者	夕食		合計
			弁当	おかず	
4	268	21	167	88	544
5	271	22	102	77	472
6	298	0	175	80	553
7	253	18	174	79	524
8	253	12	156	99	520
9	245	24	162	89	520
10	252	22	154	85	513
11	239	25	148	100	512
12	235	21	151	93	500
1	209	10	152	95	466
2	210	0	133	92	435
3	237	0	150	95	482
合計	2,970	175	1,824	1,072	6,041

※配食サービスは下記「P23（4）受託運営事業」に記述

（3）しゃんとせな事業（ボランティアコーナー事業）

①支援事業（資材の貸出）

品目	回数	品目	回数	品目	回数
テント		福祉関係ビデオ		わたがし機	
映写機		サンタクロース		福祉関係書籍	
スクリーン	1	疑似体験セット	1	紙芝居	
マイセット	2	三角巾		パレット	1
エプロン		臼と杵		フライヤー	
ブルーシート		マイクセット		プロジェクター	
たこ焼き台		ポップコーン		ホットプレート	
机		折りたたみ椅子		かき氷機	
発電機	1				

②感染対策機器材貸出

品目	回数
バクテクター	12
アクリル板	2
非接触型体温計	1

③ふれあい弁当活動

各地区婦人会、五條あゆみ会等の協力により実施

対象：独居高齢者及び高齢者世帯で見守り・声掛けを実施している方

琴平地区：約 300 食の配食 3/2,3

榎井地区：約 130 食の配食 3/30

五條地区：約 100 食の配食 3/30

象郷地区：約 70 食の配食 3/30

④古切手、使用済みテレカ等収集協力

- ・古切手及び使用済みテレホンカード 個人 延23名
団体（事業所）延20団体

⑤環境整備・町づくり（季節ごとの花の植え替え、及び草抜き、水やり等管理）

西山花壇 : 西山地区各自治会

(4) 受託運営事業

①配食サービス

一人暮らし、高齢者世帯などで調理が困難な者に対して、栄養のバランスのとれた食事を配達することによって、自立と生活の質の確保及び身体的・精神的な負担の軽減を図る。

②生きがい対応型デイサービス

琴平町に居住する者であって、かつひとり暮らし老人等で家に閉じこもりがちな、おおむね60歳以上の在宅の虚弱老人等に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該高齢者の生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的精神的な負担の軽減を図る。

③生活管理指導員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね65歳以上の者で介護保険に該当しない人等への、日常生活に関する支援・指導等を行うために生活管理指導員の派遣を行う。

④軽度生活援助員派遣事業

琴平町に住所を有するおおむね65歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者であって、入院時等での援助を行うために、生活援助員の派遣を行う。

⑤介護予防事業

琴平町に住所を有するおおむね65歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者やその家族に対し、できる限り介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるように支援する観点から、開催している。

<受託事業実績>

単位：円

事業名	月	基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①配食サービス事業	委託料		764,400	637,700	681,800	680,400	683,900	705,600	672,000	717,500	646,100	700,700	682,500	765,800	8,338,400
	1食700円 食数		1,092	911	974	972	977	1,008	960	1,025	923	1,001	975	1,094	11,912
②生きがいデイサービス	委託料		126,000	80,000	64,000	64,000	64,000	64,000	84,000	102,000	82,000	26,000	0	0	756,000
	1人2,000円 人数		63	40	32	32	32	32	42	51	41	13	0	0	378
③生活管理指導	委託料		81,200	81,200	88,200	78,400	68,600	71,400	71,400	67,200	71,400	61,600	63,000	78,400	882,000
	1時間1,400円 時間数		58.0	58.0	63.0	56.0	49.0	51.0	51.0	48.0	51.0	44.0	45.0	56.0	630.0
④軽度生活支援	委託料		0	3,000	3,000	5,000	5,000	3,000	2,000	0	2,000	0	0	0	23,000
	1時間1,000円 時間数		0	3	3	5	5	3	2	0	2	0	0	0	23
⑤介護予防	委託料		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0	0	0	0	0	180,000
	1回30,000円 回数		1	1	1	1	1	1	1						6
合計			1,001,600	831,900	867,000	857,800	851,500	874,000	829,400	886,700	801,500	788,300	745,500	844,200	10,179,400

注 ※総額で内5,044,300円は利用者から実費として徴収し、町に納入している。

2. 介護・障害福祉サービス

(1) 介護保険事業

新型コロナウイルスの影響により、施設サービスを利用していた利用者が利用できなくなることがあり、サービスの質を落とさないようにサービスの調整をするのに苦慮した。また、今まで利用者がコロナ陽性者にはなっていないが、サービスを提供する側（事業者）がコロナ等になり、利用者とは同行し、PCR 検査を受けたことが何度かあった。

①居宅介護支援事業利用件数 (件)

月	居宅介護支援 (実人数)	新規利用者数
4	79	2
5	77	2
6	76	1
7	74	1
8	71	1
9	72	2
10	70	1
11	68	
12	67	
1	65	
2	63	2
3	64	1
合計	846	13
1カ月平均	71	1

②研修

○居宅介護支援研修（事業所）

研修日	内 容
4/8	業務改善会議・勉強会
7/2	中讃地区主任介護支援専門員連絡（県）
8/3,11,18,25,31	主任介護支援専門員更新研修（県）
9/3,8,11,20	主任介護支援専門員更新研修（県）
10/17	自立支援等を見据えたアセスメント強化研修会（県）
10/17	介護支援専門員資質向上研修会（県）
10/19	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡
11/12	中讃地区主任介護支援専門員連絡（県）
R4.3/8	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員連絡
3/22	接遇研修
3/25	琴平町介護支援専門員連絡会

③居宅介護支援利用者へのアンケートの実施

④訪問介護支援事業

利用者が、コロナ陽性者と濃厚接触者となり、ヘルパー派遣の際に PCR 検査で陰性が確

認できるまで、買い物等を行い接触しないようにし、陰性が確認できたら訪問した。支援が必要な利用者には、防護服等でヘルパーが感染しないように対応した。

ヘルパーの数が増えたこともあり、訪問数も徐々には増えている。

○利用件数

月	訪問介護		
	実人数	延人数	新規
4	34	570	
5	32	539	
6	34	565	2
7	33	565	1
8	32	579	
9	30	528	
10	32	529	
11	31	568	1
12	36	586	5
1	34	556	2
2	36	543	
3	36	564	
合計	400	6692	11
1カ月平均	33	558	2

⑤業務会・研修会

<業務会>

開催日	内 容
5/27	利用者様の情報共有 新規の件、土日出勤の件
6/28	介護者の声掛け・誘導について 新規利用者様のサービス周知、情報共有
7/28	会長との勉強会：「ヘルパー業務の心得」
9/8	利用者様の状態や情報の共有と交換 新規利用者様の支援内容 新入ヘルパーの紹介
10/18	利用者様の情報共有 車の運転、ドライブレコーダーのチェック
11/29	新規利用者様や訪問先の周知 変更届、コトカについて、実績記録の周知
1/24	新規利用者様の情報共有 利用者様の支援内容の確認 感染症の対応
3/14	処遇改善支援金及び障害者虐待防止の義務化について

(2) 障害者福祉サービス

障害者の立場に立った障害者福祉サービスを利用できるように、障害者自らがサービスを選択し、事業者と契約してサービスを利用する制度。

行政や医療等からの相談で、本人が地元の琴平で計画相談できるところがいいということで、新規が3件増えている。居宅介護では、障害がある方が、今後一人で生活できいくような自立支援を念頭に置き、対応した。

①指定特定相談支援事業 利用者数 12名

②活動状況

月	居宅介護					特定相談支援		
	訪問介護		移動支援		新規	相談件数	計画 (実人数)	新規
	実人数	延人数	実人数	延人数				
4	13	134	7	43		45		
5	14	147	7	48		42		
6	13	141	7	51		23	1	
7	13	136	7	44		28	3	1
8	14	143	7	45		23	1	
9	15	164	7	55	1	40	1	
10	15	188	7	55		49	3	1
11	15	148	7	57		33		
12	15	136	7	45		50	2	1
1	14	141	6	36		27	1	
2	15	117	6	25		37		
3	16	144	6	35		32	1	
合計	172	1739	81	539	1	429	13	3
1力月平均	14	145	7	45	1	36	2	1

③研修会への参加・協力

研修日	内容
4/12	相談支援連絡会
5/10	相談支援連絡会 事例検討会
6/14	相談支援連絡会 事例検討会
7/12	相談支援連絡会 事例検討会
8/10	相談支援連絡会 事例検討会 (事例提供)
9/13	相談支援連絡会 事例検討会
10/11	相談支援れ楽会 事例検討会
11/8	事例検討会
12/13	相談支援連絡会 事例検討会
1/11	相談支援連絡会 事例検討会
3/14	相談支援連絡会
3/18	障害者差別解消支援地域協議会

IV、共同募金運動

10月1日から全国一斉に募金運動が展開される。募金運動の開始前からの広報活動に始まり、期間中に住民、法人等の様々な協力を得て募金活動を行った。また、地域で活動する助成団体や行政だけでなく、多様な機関等との連携・協働により「じぶんの町を良くする」活動を展開した。

コロナの影響により、街頭募金ができなく、目標額まで届かなかった。しかし、香川県立琴平高等学校の協力により、文化祭時に募金活動を行ってくれた。さらにこんぴら朝市の時に街頭募金を行い、募金活動を進めた。

①募金活動

募金総額 2,432,728円（目標額 2,911,000円）

<内訳>

種別	件数(件)	金額(円)	備考
戸別募金	2,060	1,718,550	
街頭募金	10	52,309	こんぴら朝市9回
法人募金	40	184,260	
学校募金	7	36,077	
職域募金	22	264,500	バッジ募金
イベント募金	0	0	
個人募金	25	71,150	
その他	8	105,882	自動販売機、バッジ、ホテル、ガチャ、ちよつとこ場(1月1~3日)
総額		2,432,728	

②運営委員会、審査会、監事による監査の実施

令和3年5月19日	監査	地域福祉ステーション
令和2年度共同募金事業及び会計監査		
令和3年5月28日	審査委員会	地域福祉ステーション
令和3年度募金(令和3年度事業)申請事業審査		
令和3年6月1日	第1回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会会長・副会長選任 ・令和2年度共同募金活動報告 ・令和2年度共同募金実績報告 ・令和2年度監査報告 ・令和3年度事業計画、推進計画 		
令和3年9月9日	第2回運営委員会	地域福祉ステーション
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度共同募金推進計画について ・令和3年度琴平町共同募金活動の流れ ・街頭募金運動について 		
令和4年3月28日	第3回運営委員会	地域福祉ステーション

- ・令和3年度活動実績報告
- ・年内スケジュールについて

③啓発活動

- ・町内施設へのポスター配布
- ・チラシ全戸配布
- ・ホームページ開設
- ・SNS（インスタグラム）の開始
- ・広報紙に掲載

④街頭募金運動の実施

- 実施日 7/25、8/22、9/12、10/10、25、11/14、28、12/12、26、1/9
- 場 所 一之橋公園
- 実施日 1/1～3
- 場 所 ちょっとこ場

⑤新たな募金手法の開発

- ・こんぴら朝市での募金活動
- ・琴平高校文化祭でコラボグッズ販売
- ・繁忙期ホテルフロント募金箱

⑥助成活動 20団体 24事業へ助成

助成総額 1,922,951 円

<配分団体別事業一覧>

	団体名	事業名
1	阿波町北連合自治会	自主防災事業
2	阿波町北連合自治会	地域福祉事業
3	高敷下組自治会	高敷下組自治会防災活動
4	琴平婦人会	地域福祉事業
5	榎井婦人会	地域福祉活動事業
6	食生活改善推進協議会	さめきの食文化事業
7	琴平高校とらすとK	神戸に手紙を書く会
8	阿波町神防災会	阿波町上防災訓練
9	小松町防災クラブ	防災訓練事業
10	琴平町老人クラブ連合会	地域福祉活動支援事業
11	社会を明るくする運動	7月強調月間広報活動の出版式とメッセージの伝達式、街頭宣伝、公開ケース研究会
12	415のわ	子ども読書活動推進事業
13	K3	子育てと教育を考える会
14	榎井ハッピーネット	第5回榎の木フェスタ
15	ボランティア連絡会議	異世代交流事業
16	母子愛育会	地域親子ふれあい活動
17	象郷婦人会	独居老人おせちづくり
18	象郷校区みまもりネット	象郷校区みまもり活動
19	琴平に図書館を作る町民会議	琴平に図書館を作る
20	まちじゅう図書館	ことひらまちじゅう図書館プロジェクト
21	琴平町社会福祉協議会	毎日型食事サービス事業
22	琴平町社会福祉協議会	ふれあい弁当事業
23	琴平町社会福祉協議会	地域福祉推進事業
24	琴平町社会福祉協議会	町づくり事業

○町づくり事業内訳

助成団体	内容
琴平中学校	ベンチ製作

⑦事務局長会議及び担当者会議への出席

V、収益事業

1、特産品（ガリック娘）の販売・促進

①令和3年度実績 **売上金額 2,470,790円**（R2年度 2,801,028円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
183g(本)	17	85	136	225	209	160	114	124	249	380	98	220	2017
金額(円)	21,635	101,890	156,578	273,504	247,190	203,130	131,395	151,581	283,658	435,860	110,855	259,114	2,376,390
900g(本)	4	2	0	5	6	6	0	1	0	2	0	2	28
金額(円)	14000	6400	0	16000	21,000	20400	0	3200	0	7,000	0	6,400	94,400
金額合計	35,635	108,290	156,578	289,504	268,190	223,530	131,395	154,781	283,658	442,860	110,855	265,514	2,470,790

・町内販売店舗数 18店舗 ・町外販売店舗数 10店舗

（その他、社協HP上からのインターネット販売も実施）

②広報活動

i インターネット雑誌「旅色」に掲載

③農商工連携会議

ガリック娘の作業工程で出るニンニクを廃棄していたが、商品化できるかの打ち合わせを行った。

協議体：・宝食品 ・岡田工業 ・生産者 ・社協

開催日：4/14、8/11、11/2、R4.1/24

VI、公益事業

1、地域生活総合支援サービス

その人にあった必要なサービスを提供すると共に、住民活動や住民によるサービスなどインフォーマルサービスとフォーマルサービスをつないでコーディネートすることにより生活を総合的に最期まで支援する。

①利用契約 9名

②支援実績

支援内容	実支援
見守り	168件
生活支援	110件
入退院支援	2件
葬儀供養	0件
死後対応事務	0件
支払い	54件
相談	15件
受診同行	25件
その他	17件
合計	391件

2、まちのキッチン「もぐもぐ」の運営

①開店日 : 月～金 10時～16時

・毎月24日を「もぐもぐの日」として設定し、割引チケットを配布した。

②売上 **6,043,464円** 総来客数 9,206人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
総来客数(人)	835	737	872	745	590	710	798	914	732	627	685	961	9,206
一日平均(人)	38	41	40	35	33	36	38	42	37	31	36	42	
売上額(円)	569,510	494,417	517,347	481,544	369,688	432,702	515,117	611,083	525,605	461,276	455,994	609,181	6,043,464

③相談支援

- ・毎日来ていた方が、来ていなかったら電話連絡や訪問している。
- ・気になる方が来店されたら、事務所に連絡